

麻生山一つるつる温泉汗慣らし山行報告 (2019年7月13日 (土))

参加者 (5名) : 伊藤 (L)、石井、中島、松山、△後藤

行程 : 8:00 武蔵五日市駅 8:10-8:40 金比羅山登山口-9:10 金比羅神社 (468m)

9:20-11:50 麻生山 (794m) 昼食 12:20-13:20 白岩の滝 13:30-13:50 白岩の滝

バス停-14:10 つるつる温泉 入浴・反省会 17:10= (バス) =17:30 武蔵五日市

17:44=18:24 立川

夏本番を控えた7月に、夏山用のトレーニングとして「汗慣らし山行」を行うのが定例化している。今回は武蔵五日市からの「金比羅尾根」という長いコースを選んだ。

今年の梅雨は切れ目がなく毎日のように降っているが、13日は奇跡的に曇りで8時に武蔵五日市駅に4名が集合した。市内を進み標識に導かれて8時40分に登山口に着いた。

舗装された山道を登り出すと、早くも汗が出てくる。9時10分に金比羅山にある展望東屋で休憩、曇りではあるが東京都心が良く見えている。一休みして先に進むとすぐに広場のある金比羅神社に着いたが、近くにあるはずの山頂は見つけることができなかった。

さてこれから麻生山に向かう長い「金比羅尾根」の核心部である。最初のうちは杉林の中の高低差が少ない歩きやすい尾根道が続く。東側からは涼しい風が入り、汗が引いていく。マイナーなルートで人は少ないが、トレランやマウンテンバイクの人もいた。

2時間近く歩いて見晴らしの良い場所に出ると、尖った形の麻生山が初めて姿を現した。間もなく急傾斜となり、ヒイヒイ言いながら11時50分に麻生山山頂(794m)に到着した。

やっとたどり着いた山頂は細長く平たく、南西側の樹木が伐り払われている。さすがに山頂には多少の人の行き来がある。昼食を摂っていると、雲行きが怪しくなってきた。疲れてもいるので、日の出山に行かずに温泉に直接下りることにして12時20分下山した。

日の出山方面に少し進み。右折して急斜面を下った。短時間で急斜面は終わり、その後は雑草が高く生い茂った道を草をかき分けて降りると、林道のある麻生平に降り立った。

ここからは小さな沢に沿った、薄暗い植林帯の中の道を下って行く。少しづつ小さな滝が現れてきたと思うと、13時20分ごろ結構立派な「白岩の滝」が現れた。満足して進むとすぐに車道に出た。この頃からポツポツと雨粒が落ちてきたが、雨具を出すほどではない。13時50分に白岩の滝バス停に着き、舗装道路を上って14時10分つるつる温泉に着いた。

土曜日だが思ったほど人はいなくてゆったりと入ることができた。たっぷり汗をかいたので、汗を流して手足を伸ばすと本当に寿命が延びた気がする。スッキリして出た後はお待ちかねのビールである。体調不良で山行を中止した1名も加わり、5名で大反省会となった。梅雨の時期にまあまあの天気であった。きつめの山であったが歩きやすく、滝も良く、温泉もビールも大変良かったと反省したのであった。たっぷり飲んで17時10分のバスに乗り武蔵五日市駅へ戻った。拝島で1名と別れ、18時24分に立川駅で解散した。

(伊藤)